



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月12日

上場会社名 日本ハウズイング株式会社

上場取引所 東

コード番号 4781 URL <https://www.housing.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小佐野 台

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経営企画部長 (氏名) 奥田 実

TEL 03-5379-4141

四半期報告書提出予定日 2020年8月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	24,326	4.8	538	28.5	532	27.7	299	34.1
2020年3月期第1四半期	25,555	14.6	753	138.0	736	144.4	454	288.1

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 224百万円 (50.7%) 2020年3月期第1四半期 454百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	18.62	
2020年3月期第1四半期	28.24	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	51,981	32,468	61.4	1,984.74
2020年3月期	55,614	32,844	58.0	2,006.49

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 31,910百万円 2020年3月期 32,260百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		36.00		36.00	72.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		38.00		38.00	76.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(2020年8月12日)公表いたしました「業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	111,400	4.4	5,650	14.9	5,630	15.2	3,600	11.7	223.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2020年8月12日)公表いたしました「業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期1Q	16,080,000 株	2020年3月期	16,080,000 株
2021年3月期1Q	1,823 株	2020年3月期	1,823 株
2021年3月期1Q	16,078,177 株	2020年3月期1Q	16,078,221 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	当第1四半期	前年同四半期	前期比
売上高	24,326	25,555	△4.8%
営業利益	538	753	△28.5%
経常利益	532	736	△27.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	299	454	△34.1%

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、政府による緊急事態宣言が発出されるなど、経済・社会活動が制限されたことで、個人消費や設備投資が減少し、景気は急速に悪化しました。また、海外経済につきましても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による経済活動制限などにより、先行き不透明な状態が続いています。

当社グループにおきましても、新型コロナウイルス感染症拡大が、マンション管理組合における理事会・総会の開催および管理物件の専有部に立ち入る点検作業の延期や、大規模修繕工事現場の稼働停止などの影響を及ぼしました。しかしながら、社会機能維持に関わる事業者として、管理業務・清掃業務など日常的な維持管理業務につきましては、お客様や従業員の感染防止に最大限の注意を払いながら業務を継続してまいりました。

このような状況のもと、昨年9月に当社持分の全てを譲渡した中国における子会社が連結から外れたこと、前述の新型コロナウイルス感染症拡大の影響、また、緊急事態宣言が発出されている状況下で現場業務に従事した管理員や清掃員等に特別手当を支給したことなどにより、前年同期比で減収・減益となりました。

その結果、売上高は24,326百万円（前年同期比4.8%減）、営業利益は538百万円（前年同期比28.5%減）、経常利益は532百万円（前年同期比27.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は299百万円（前年同期比34.1%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	売上高			営業利益		
	当第1四半期	前年同四半期	前期比	当第1四半期	前年同四半期	前期比
マンション管理事業	12,812	12,704	0.9%	893	969	△7.8%
ビル管理事業	2,216	3,047	△27.3%	134	171	△21.6%
不動産管理事業	1,504	1,389	8.2%	158	146	8.4%
営繕工事業	7,793	8,412	△7.4%	94	166	△43.4%
消去又は全社	—	—	—	△742	△701	—
合計	24,326	25,555	△4.8%	538	753	△28.5%

① マンション管理事業

マンション管理事業につきましては、前連結会計年度に受託した物件が計画通りに稼働したこと等で増収となりましたが、緊急事態宣言が発出されている状況下で現場業務に従事した管理員や清掃員等に特別手当を支給したこと等が利益に影響いたしました。

その結果、売上高は12,812百万円（前年同期比0.9%増）、営業利益は893百万円（前年同期比7.8%減）となりました。

② ビル管理事業

ビル管理事業につきましては、当社においては新規受注が好調に推移しましたが、昨年9月に当社持分の全てを譲渡した中国における子会社が連結から外れたことが売上高・利益に影響いたしました。

その結果、売上高は2,216百万円（前年同期比27.3%減）、営業利益は134百万円（前年同期比21.6%減）となりました。

③ 不動産管理事業

不動産管理事業につきましては、管理ストックから派生する建物周辺業務が好調に推移したことや、国内子会社である山京ビルマネジメント株式会社との連携による大型のリフォーム工事の受注が、売上高・利益に寄与いたしました。

その結果、売上高は1,504百万円（前年同期比8.2%増）、営業利益は158百万円（前年同期比8.4%増）となりました。

④ 営繕工事業

営繕工事業につきましては、国内外における大規模修繕工事を中心とした工事現場の稼働停止や、マンション管理組合における理事会・総会の開催延期に伴う受注の遅れ等が、売上高・利益に影響いたしました。

その結果、売上高は7,793百万円（前年同期比7.4%減）、営業利益は94百万円（前年同期比43.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(単位：百万円)

	当第1四半期末	2020年3月期	増減
資 産	51,981	55,614	△3,633
負 債	19,512	22,770	△3,257
純 資 産	32,468	32,844	△376
うち自己資本	31,910	32,260	△349
期末有利子負債	3,812	4,260	△448
自己資本比率(%)	61.4	58.0	3.4

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3,633百万円減少し、51,981百万円となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金の減少3,650百万円等であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ3,257百万円減少し、19,512百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の減少1,764百万円、未払法人税等の減少1,003百万円、賞与引当金の減少865百万円等であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ376百万円減少し、32,468百万円となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加299百万円、剰余金の配当に伴う利益剰余金の減少578百万円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスによる影響は限定的ではあるものの、その影響については見極めることが難しく、合理的な前提に基づく算定が困難であることから業績予想の公表を未定とさせていただきます。

詳細については、本日（2020年8月12日）公表いたしました「業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,180	21,013
受取手形及び売掛金	15,693	12,042
未成工事支出金	925	1,229
原材料及び貯蔵品	146	166
その他	963	948
貸倒引当金	△81	△73
流動資産合計	38,828	35,327
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,143	4,020
機械装置及び運搬具(純額)	80	78
工具、器具及び備品(純額)	404	394
土地	6,896	6,896
建設仮勘定	14	14
有形固定資産合計	11,539	11,404
無形固定資産		
のれん	1,095	1,017
その他	979	1,007
無形固定資産合計	2,074	2,025
投資その他の資産		
投資有価証券	171	167
関係会社株式	131	131
差入保証金	1,034	1,033
繰延税金資産	978	1,017
その他	979	995
貸倒引当金	△123	△123
投資その他の資産合計	3,173	3,223
固定資産合計	16,786	16,653
資産合計	55,614	51,981

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,657	4,893
短期借入金	2,917	2,611
1年内返済予定の長期借入金	334	314
未払法人税等	1,379	375
未払費用	2,295	2,450
賞与引当金	1,838	973
工事損失引当金	3	2
工事補償損失引当金	3	—
その他	4,730	5,430
流動負債合計	20,159	17,050
固定負債		
長期借入金	1,008	886
退職給付に係る負債	616	616
繰延税金負債	145	141
その他	840	817
固定負債合計	2,610	2,461
負債合計	22,770	19,512
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,492	2,492
資本剰余金	1,871	1,871
利益剰余金	28,204	27,924
自己株式	△1	△1
株主資本合計	32,566	32,287
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16	13
為替換算調整勘定	△153	△211
退職給付に係る調整累計額	△168	△178
その他の包括利益累計額合計	△306	△376
非支配株主持分	584	557
純資産合計	32,844	32,468
負債純資産合計	55,614	51,981

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	25,555	24,326
売上原価	19,420	18,562
売上総利益	6,134	5,764
販売費及び一般管理費	5,381	5,225
営業利益	753	538
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	2	2
その他	23	15
営業外収益合計	29	20
営業外費用		
支払利息	28	22
為替差損	11	—
その他	6	4
営業外費用合計	46	26
経常利益	736	532
税金等調整前四半期純利益	736	532
法人税等	265	238
四半期純利益	471	294
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	17	△5
親会社株主に帰属する四半期純利益	454	299

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	471	294
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4	△2
為替換算調整勘定	△7	△56
退職給付に係る調整額	△6	△10
その他の包括利益合計	△17	△70
四半期包括利益	454	224
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	433	229
非支配株主に係る四半期包括利益	21	△5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社及び国内連結子会社の税金費用については、原則として、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を用いた計算をしております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マンション 管理事業	ビル 管理事業	不動産 管理事業	営繕工事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,704	3,047	1,389	8,412	25,555	—	25,555
セグメント間の内部 売上高又は振替高	26	6	67	4	105	△105	—
計	12,731	3,054	1,457	8,417	25,660	△105	25,555
セグメント利益	969	171	146	166	1,454	△701	753

(注) 1. セグメント利益の調整額△701百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マンション 管理事業	ビル 管理事業	不動産 管理事業	営繕工事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,812	2,216	1,504	7,793	24,326	—	24,326
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7	14	67	12	102	△102	—
計	12,820	2,231	1,571	7,805	24,429	△102	24,326
セグメント利益	893	134	158	94	1,281	△742	538

(注) 1. セグメント利益の調整額△742百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。